

学融合 ゼミナール

自らの専門分野の学問領域と他の学問領域を統合的に学び、
多面的・重層的な思考をすることで、
複雑で多様な現代社会の課題に応えることができる能力・資質を養います。

目的

1. 自学科とは異なる専門領域の学びから多面的・重層的な思考を獲得し、複眼的な視野を養います。
2. 複数のディシプリン（分野、領域）の連携と交流、相互理解を通して現代社会の課題を解決する力を養います。
3. 最終的に、多面的な性質をもつ地域の課題解決に向けて異なる専門分野の多様な人材を統合し、調整する新しいリーダーとなることを目指します。（地域戦略人材）

学融合ゼミナールは、
AタイプとBタイプ、どちらかを選択することができます！

詳しくは中面へ！



2年生

学融合
ゼミナールⅠ
Aタイプ

3年生

学融合
ゼミナールⅡ
Aタイプ

学科と学科のクロスを中心として、
2つの学科の組み合わせ。

2・3年生自由選択

学融合
ゼミナールⅠ・Ⅱ
Bタイプ

学科を問わず、多様な学問領域を学び、
全学科の学生が同じ授業を受講。

新しいタイプの
学融合プログラムを開発！

2・3年次共通選択

学 / 融 / 合

クロスディシプリン

教 / 育

GUIDEBOOK



私たちの世界は、かつてない速さで変化しています。技術の進歩、社会構造の変化、環境問題など、複雑な課題が山積しています。これらの課題に対応し、新しい価値やビジネスを創出するためには、従来の枠を超えた学びが必要不可欠です。本学では、「地域戦略人材」の育成を目標とし、学融合、文理統合、データサイエンス、アントレプレナーシップを柱とした教育プロセスを展開しています。

学融合と文理統合のアプローチは、多様な視点と知識の統合を促します。世界を一つの分野からだけではなく、複数の角度から理解することで、より深い洞察と広い視野を学生に提供します。このような教育は、創造的な思考を促し、異なるアイデアや概念を結びつける新しい発想を生み出す土壌となります。

そして、これらすべての教育プロセスは、「地域戦略人材」として、地域や社会の課題に対して責任を持ち、革新的な解決策を提案し実行できる人材を育成することを目的としています。地域社会と密接に連携し、その発展に貢献することで、学生は自らのキャリアだけでなく、よりよい未来を創造するための力を培います。

このような教育プロセスを通じて、本学は学生一人ひとりが持つ他潜在能力を最大限に引き出し、彼らが社会の中で活躍し、変革をもたらすことができる「地域戦略人材」を育成しています。変化の激しいこの時代において、私たちの学びの意義は、学生たちが直面する未来の課題に対し、勇気と創造性をもって立ち向かう力を育むことにあります。

学融合ゼミナールI Aタイプ

2年生

2年次において、自学科の専門分野と他学科の専門分野を融合するために、自学科・他学科の学問分野を学び、グループワーク・プレゼンテーションを行います。

CURRICULUM

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	
学科パート					横断パート					混合パート	学科パート			
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
■									★			◆	◆	

- … 座席指定、グループワーク
- … 本事業におけるクロスディシプリン教育の位置 学融合ゼミナールの意義を周知
 - 探究実証系学科 → 学科専門領域と地域学 + cross 社会創造系学科の地域学
 - 社会創造系学科 → 学科専門領域と人文科学 + cross 探究実証系学科の人文科学
- ★… 第10回を混合パートに変更
 - cross 2学科混合クラス (A学科 + B学科 + 2 → 混合2クラス) 混合パート
 - 学科の枠を超えたディスカッション
 - 授業は事前の学科計画を活用、混合クラスを考慮した授業運営
- ◆… レポート作成、プレゼンテーション

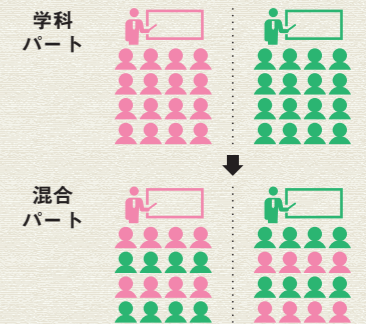
POINT

○ 混合パートを横断パートの最終回（10回）に設定し、学科パートと横断パートのふり返り、ディスカッションを行う。

授業のイメージ (例) 歴史学科 × 地域創生学科

授業	1回～5回 学科パート	6回～9回 横断パート	10回 混合パート	11回～14回 学科パート
教室	歴史	歴史	歴史	歴史
教員	歴史	歴史	歴史	歴史
学生	歴史	歴史	歴史	歴史

歴史の学生を歴史1・歴史2、地域の学生を地域1・地域2とそれぞれ2分し、各教室に分散させる。
⇒ 歴史学科教室=歴史1+地域2 / ⇒ 地域学科教室=地域1+歴史2



前列が自学科、後列が他学科の席順で学科混合の前後でグループワーク。

学融合ゼミナールII Aタイプ

3年生

3年次において、学科を超えた学融合を行うために、学科を超えた授業科目の自由選択、グループワーク・プレゼンテーションを行います。

CURRICULUM

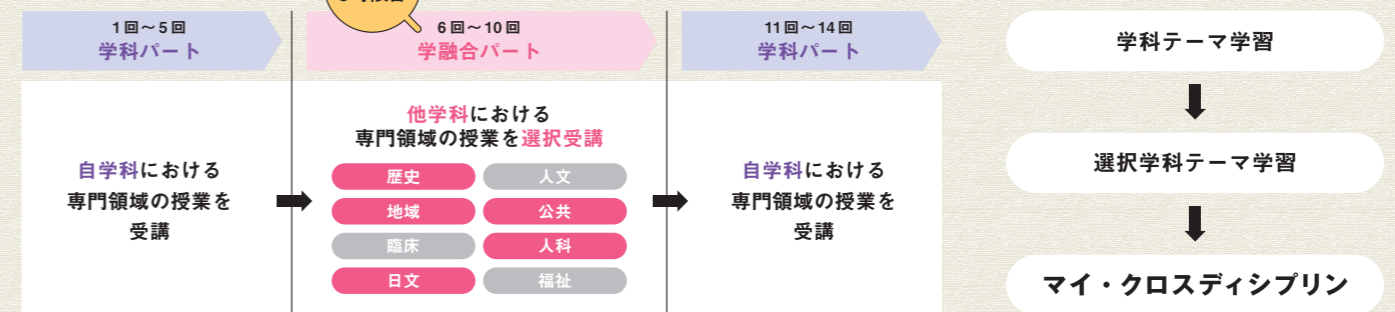
1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回
学科パート					学融合パート					学科パート			
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■					▲	▲	▲	▲	▲			◆	◆

- … 座席指定、グループワーク
- … 本事業におけるクロスディシプリン教育の位置 学融合ゼミナールの意義を周知
 - 探究実証系学科 → 学科専門領域と現代社会
 - 社会創造系学科 → 学科専門領域と人間学
 - 学科専門領域を超えた学融合の探究 (開講テーマ: 探究実証系学科-人間学 / 社会創造系学科-現代社会)
- ▲… 6回～10回を学融合パートに変更
 - 自己の学融合に基づく研究領域の自由選択、学科を超えた学融合 (マイ・クロスディシプリン)
 - 当該授業時間帯 - 水曜日3時限開講の融合科目の中からcross 学科を超えた授業選択
 - UR-note に3年対象の授業コースを設定、資料提示、課題提出 (各学科に提出=採点)
 - 各回のレポートをもとに成績評価、UR-note の活用、合計点で成績認定
 - 授業は事前の学科計画を活用
- ◆… レポート作成、プレゼンテーション

POINT

○ Cross 学科を超えた自由選択、自学科以外を選択受講、マイ・クロスディシプリンの実現。

授業のイメージ



学融合ゼミナールI・II Bタイプ

2・3年生 自由選択

異なる学科の学生による課題解決型学習・テーマの選択型科目

CURRICULUM

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回
第1クォーター							第2クォーター						
●	◎	◎	☆	☆	☆	☆	●	☆	☆	☆	☆	○	■
自学科	特別講義	特別講義	選択テーマ科目				アドバイザー講座	選択テーマ科目				報告書	報告会

- ◎… 特別講義 (オンデマンド) ○… 報告書のまとめ方と作成 ■… アカデミックレポートの作法と作成
- … 第1クォーター: 第1回…学融合ゼミナールの受講の事前知識
- 第2クォーター: 第1回…第2クォーターの履修上のアドバイザー講座 (オンデマンド)

他領域テーマ

- 環境保全と生物多様性、2. グリーンインフラ、3. 食とAI活用、4. 現代社会と宗教、5. 地域創生と公共哲学、6. 智慧と慈悲の実践、7. スマート都市農業実践、8. 地域を幸せにするローカルイノベーション、9. 離島の生活と教育の課題、10. コミュニケーション力の醸成、11. 情報社会と大学広報、12. 旅する図書館一座、世界と日本をゆくー地域社会をインクルーシブに切り拓く図書館の創造ー、13. 世の中の事象を見極める実践統計学、14. 民主主義の課題と将来、15. ゲームチェンジで社会の変革を

POINT

○ 学科を超えた学びとして、課題解決型の学習を行う。他領域の学修やプレゼンテーションを行う。

授業のイメージ

